

1. 館長挨拶

芝浦工業大学図書館

館長 田中 直彦

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大が続く中、ポストコロナという言葉を目にするようになって早2年。いつ、どのようにしてポストコロナを迎えられるのか、なかなか見通せない状況が続きますが、コロナ禍により、教育のデジタル化は一気に加速され、教育・学習活動の効率化が進んだ感があります。オンライン教育に取り組むことで、キャンパスにとらわれず様々な形で大学教育を展開する可能性も見えてきたようです。

そんな中、図書館は、大学の歩みや時代の流れとともに変遷・発展し、2021年4月より情報システム部図書館へと組織変更されました。

コロナ禍においては、学内ネットワークを利用することで自宅からの利用が可能となる電子ブックや電子ジャーナル、データベースの活用が有効な手段であり、情報システム部との連携により、組織的な運営が可能となりました。

一方で、冊子体の需要が大きいのも事実です。本学図書館主催のベストリーダー賞を受賞した学生は、卒業までに757冊の書籍を読んだことで、自身の考え方が成長したとインタビューで答えています。

オンラインでもオフラインでも、図書館と利用者がつながり、親しまれ活用されるべく、今後も更に理工系大学にふさわしい大学図書館・ネットワーク構築に向けた努力を続けて参ります。

また、Centennial SIT Action への貢献として、図書館では2021年度、以下の活動をして参りました。

実施目標 : 豊洲図書館の拡張計画を進め、ポストコロナに対応した新たな図書館構築を目指す。

計画概要 : 新たな機能を備えた学修の場としての豊洲図書館にリニューアル・拡張する計画の推進。学生の要望をタイムリーに収集し、反映させ、通年の活動を図書館年報に集約させることで業務の見える化と発信力強化を図る。

達成最終目標 : 図書館機能を見直し、2館（豊洲・大宮）体制にした豊洲図書館再構築計画を進める。

資料の充実と利用方法の積極的な指導による留学生の図書館利用促進。

利用者の「学び」を支え、利用者とともに、「成長」する図書館を目指し、現在、豊洲図書館拡張計画が進んでいます。より良い図書館運営を行うべく、ご支援を賜りますよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。